

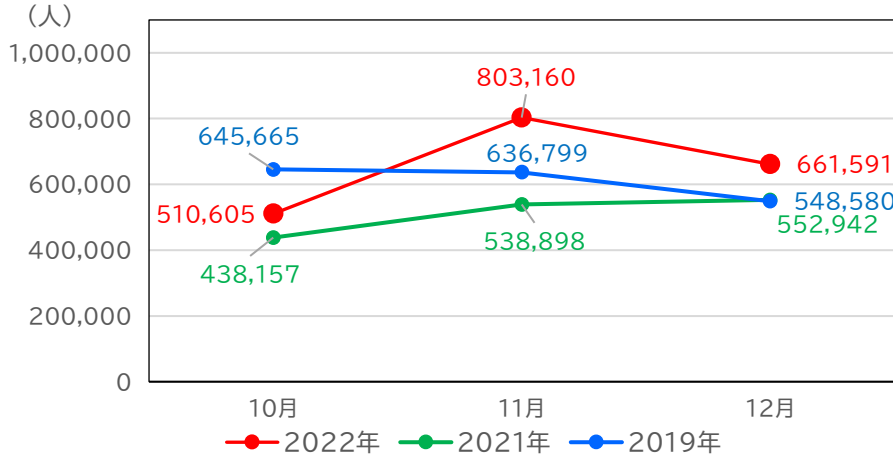
# 大分県観光予報観光動向レポート 11月号

対象都市	大分県	集計対象期間	2022年10月～2022年12月（3か月間）
比較対象都市	福岡県・長崎県・熊本県	比較対象年度	2021年（前年）、2019年（コロナ前）

## 大分県の宿泊動向

### ■宿泊者数の推移

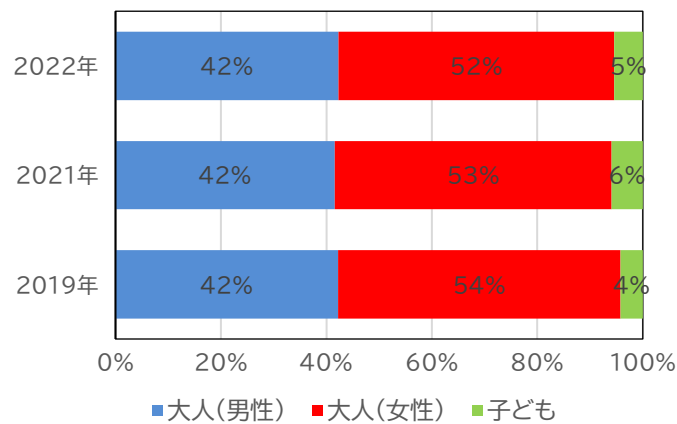
[2022年10月～12月の宿泊者数（大分県 実績・予測）]



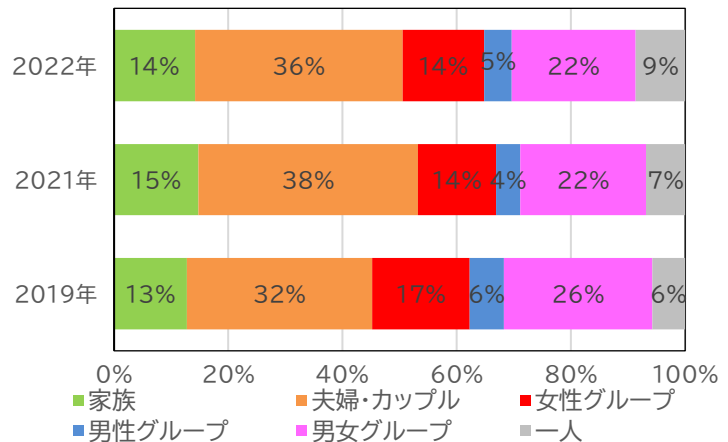
11月宿泊実績：803,160人  
 (10月時点11月予測：756,276人)  
 12月宿泊予測：661,591人  
 (10月時点12月予測：414,014人)  
 前年比（11月）  
 49% 増  
 2019年比（11月）※コロナ前  
 26% 増

### ■宿泊者属性の動向

[大人・小人の別（11月）]



[同伴形態の別（11月）]

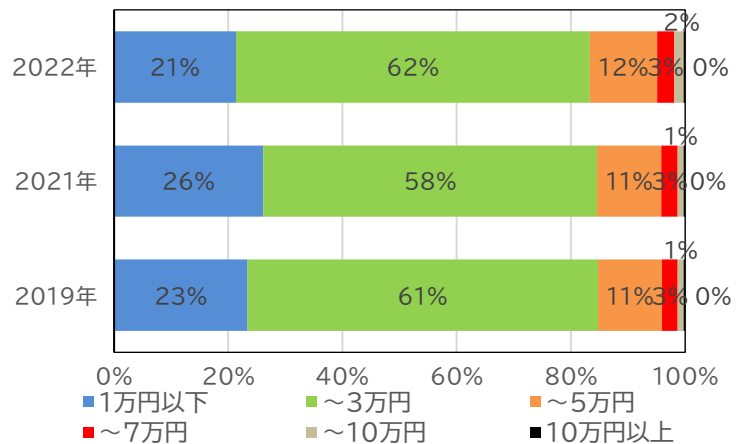


[当期宿泊者の居住地ランキング（11月）]

※海外はデータ数小により非表示

国内	順位	県名	人数	前年比(%)	順位	県名	人数	前年比(%)
	1位	福岡県	168,430	21%	6位	埼玉県	32,638	4%
	2位	東京都	71,693	9%	7位	兵庫県	29,121	4%
	3位	大分県	67,651	9%	8位	愛知県	29,088	4%
	4位	大阪府	47,894	6%	9位	山口県	28,471	4%
	5位	神奈川県	41,446	5%	10位	熊本県	25,884	3%

[一人あたり宿泊購入額（11月）]



[市町村別の宿泊者数ランキング（11月）]

市町村名	宿泊者数(人)	前年比(増加率)	2019年比(増加率)	市町村名	宿泊者数(人)	前年比(増加率)	2019年比(増加率)
1 別府市	377,885	37.9%	15.4%	10 国東市	1,451	80.2%	64.3%
2 由布市	269,969	66.9%	40.0%	11 宇佐市	1046	74.3%	61.2%
3 大分市	72,999	50.3%	32.2%	12 臼杵市	708	227.8%	200.0%
4 日田市	21,401	33.0%	15.2%	13 津久見市	341	57.9%	44.5%
5 九重町	16,217	129.1%	106.3%	14 豊後大野市	333	23.3%	11.7%
6 日出町	13,898	12.0%	0.4%	15 豊後高田市	184	-51.3%	-55.3%
7 竹田市	13,337	81.6%	63.1%	16 杵築市	143	-84.4%	-85.7%
8 中津市	9,179	33.8%	20.2%	17 姫島村	-	-	-
9 佐伯市	4,069	190.2%	166.5%	18 玖珠町	-	-	-

### 考察

#### 【大分県の宿泊動向】

・2022年11月の宿泊者数は、10月から全国を対象とした旅行支援が開始したことなどから前年比49%増、コロナ禍前の2019年比も26%増加となった。  
 ・大分県宿泊者の居住地は、福岡県在住者が21%と引き続き多くを占めているものの、全国旅行支援などの影響もあり九州外の関西・関東方面からの宿泊が多くなっている。

出典：観光予報プラットフォーム

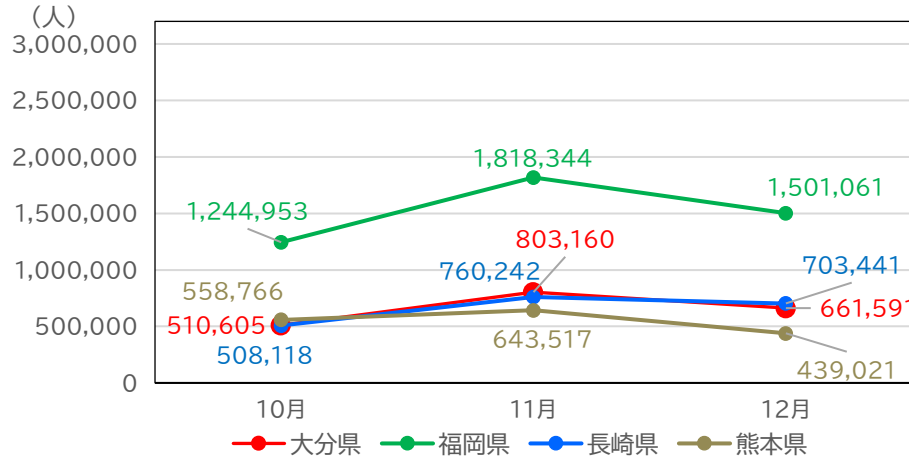
レポート発行日：2022/12/20(データ更新日：2022/12/17)

※2022年12月以降の数値は現在の予約状況及び過去の動向を踏まえた推計値です。予約数の増減に応じて随時値は変化します。また、2022年の実績値についてはキャンセル値を随時反映しているため、数値が変化する可能性があります。

### 比較対象都市との比較（10月～12月の宿泊動向）

#### ■宿泊者数の推移の比較

[2022年10月～12月の宿泊動向（隣県比較）]



【各県前年比（11月）】

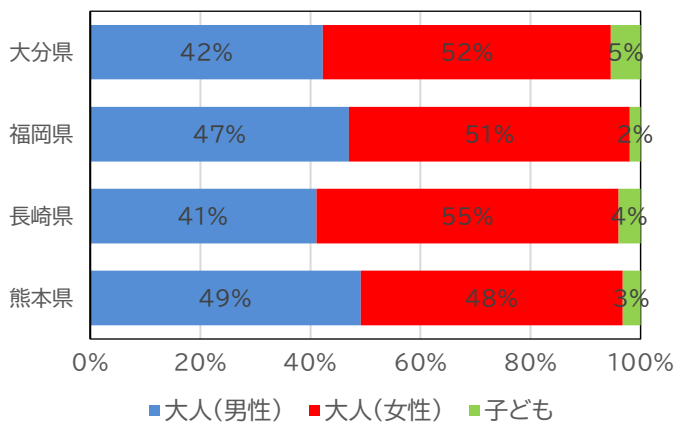
大分県： 49% 増  
 福岡県： 51% 増  
 長崎県： 23% 増  
 熊本県： 18% 増

【各県2019年比（11月）】

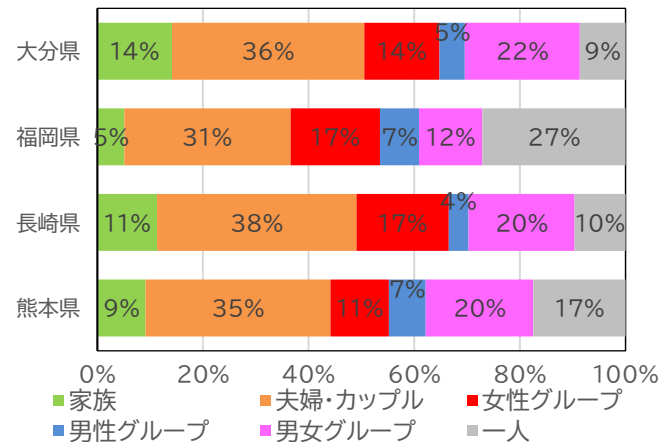
大分県： 26% 増  
 福岡県： 31% 増  
 長崎県： 24% 増  
 熊本県： -6% 減

#### ■宿泊者属性の動向比較

[大人・小人の別（11月）]



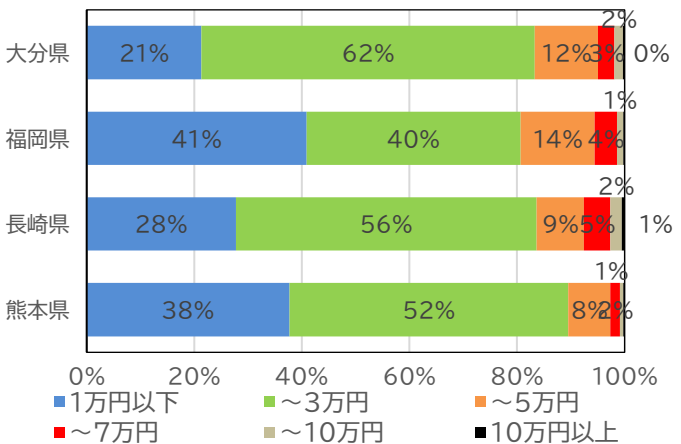
[同伴形態の別（11月）]



[各県宿泊者の居住地ランキング（11月）]

大分県			福岡県		
1位	福岡県	168,430 (21%)	東京都	228,309 (13%)	
2位	東京都	71,693 (9%)	大阪府	143,303 (8%)	
3位	大分県	67,651 (9%)	福岡県	142,517 (8%)	
4位	大阪府	47,894 (6%)	神奈川県	131,905 (7%)	
5位	神奈川県	41,446 (5%)	埼玉県	101,791 (6%)	
長崎県			熊本県		
1位	福岡県	113,113 (15%)	福岡県	94,469 (15%)	
2位	東京都	86,215 (11%)	東京都	61,433 (10%)	
3位	神奈川県	60,943 (8%)	熊本県	57,170 (9%)	
4位	大阪府	56,625 (7%)	大阪府	53,129 (8%)	
5位	埼玉県	42,780 (6%)	神奈川県	39,861 (6%)	

[一人あたり宿泊購入額（11月）]



#### 考察

##### 【比較対象都市の動向】

- ・比較対象都市の11月の宿泊者数の動向としては、10月11日より全国旅行支援の予約受付が開始したことなどから各県とも前年比は増加、コロナ禍前の2019年比も熊本県以外は増加となった。
- ・宿泊者の属性をみると、大分県は特に子供を含む家族での宿泊が多く、宿泊単価も1万円以上の割合が他県に比べ高い傾向にある。
- ・各県宿泊者の居住地としては、福岡県を除く大分県・長崎県・熊本県はいずれも福岡県からの宿泊者が一番多いが、全国旅行支援が開始となったことなどから各県ともに特に九州外の都市部からの宿泊者が多く、特に東京都、大阪府、神奈川県、埼玉県からの宿泊が4県とも多い傾向にある。